

# 2022年12月期決算(連結)参考資料

2023年2月13日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード:9656)

<https://www.greenland.co.jp/ir/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

# 目次

1. 2022年12月期決算	3
2. 2023年12月期業績予想	7
3. 業績推移	8
4. 第44期(2022年12月期)期末配当	9
5. 役員等人事	10
6. 役員新体制	12
7. 2023年の取り組みについて	13

# 1. 2022年12月期決算

## ① 連結決算概要

(単位:百万円)

	2022年	2021年
売上高	5,732	5,754
売上総利益	1,368	583
営業利益	763	34
経常利益	820	202
親会社株主に帰属する 当期純利益	428	△1,477

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、上記の連結決算概要については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

### 【概況】

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症が拡大と収束を繰り返すなど、依然として先行きが見通しにくい経営環境が続きましたものの、3月にまん延防止等重点措置が全面解除されたことに加え、全国的にワクチン接種が進むにつれ、客足は回復傾向となり、春休み、ゴールデンウィークならびに夏休みを中心に、利用者数を大きく伸ばしました。

また、10月より開始された政府による全国旅行支援事業により、顕著にホテル宿泊者数が増加したほか、レジャーを楽しむことへの気運が高まり、遊園地、ゴルフ場の利用促進にも繋がりを見せるなど、当社グループにとって強い追い風となりました。

以上により、当連結会計年度の業績につきましては、売上高5,732百万円、売上総利益は1,368百万円、営業利益763百万円、経常利益820百万円となり、北海道のホテル事業に関する固定資産の減損損失を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は428百万円となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は2,028百万円減少しております。

## ② セグメント別売上高・損益

(単位:百万円)

	売上高			セグメント損益		
	2022年	2021年	※参考 2022年 (旧基準)	2022年	2021年	※参考 2022年 (旧基準)
遊 園 地	2,666	3,154	4,483	882	382	882
ゴ ル フ	1,062	1,071	1,124	110	131	113
ホ テ ル	1,494	1,028	1,645	△26	△333	△26
不 動 産	165	170	165	90	113	90
土 木 ・ 建 設 資 材	342	328	342	61	55	61
消 去 又 は 全 社	—	—	—	△354	△314	△354
合 計	5,732	5,754	7,760	763	34	767

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)を適用しなかった場合の数値を記載しております。

## 【遊園地事業】

**売上高**：九州の遊園地は一年を通して様々なイベントや花火大会を開催し、アトラクションの新規導入やリニューアルなど、遊園地の魅力の増大を図るとともに、全国旅行支援やイベント割による集客効果も見られ、また、修学旅行を中心とする団体客が大幅に増加した結果、利用者数を大きく伸ばしました。

北海道では、新規アトラクションを導入し、多彩なキャラクターショーや花火大会、9月には3年ぶりに北海道最大級の野外音楽フェス「JOIN ALIVE」を開催するなど集客の拡大を図った結果、利用者数を大きく伸ばしました。

この結果、売上高は2,666百万円(前期は3,154百万円)となりました。

**セグメント利益**：売上高が好調に推移し、882百万円のセグメント利益(前期は382百万円の利益)となりました。

## 【ゴルフ事業】

**売上高**：3つのゴルフ場では、季節毎の特色のあるコンペの開催やきめ細かいプレープランの販売に取り組み、各種コースの改良や自動精算機の導入、ロッカー刷新などの設備拡充にも鋭意努め、幅広い層の集客と顧客満足度の向上を図った結果、若い世代や個人グループでのプレーの増加が目立ち、大型ゴルフコンペの回復傾向も見られ、利用者数は好調に推移しました。

この結果、売上高は1,062百万円(前期は1,071百万円)となりました。

**セグメント利益**：売上高は堅調に推移したものの利益率の低下により、110百万円のセグメント利益(前期は131百万円の利益)となりました。

### 【ホテル事業】

**売上高**：九州のホテルでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、依然として、婚礼などの大型宴会獲得は低調だったものの、「くまもと再発見の旅」などの旅行支援事業の効果もあり、個人客ならびに修学旅行を中心に宿泊者数が大幅に増加しました。北海道のホテルは、料飲部門や宴会部門においては、依然として大人数での会食の敬遠や自粛のムードが残り、利用者数が伸び悩んだものの、「どうみん割」や「HOKKAIDO LOVE！割」などの旅行支援事業が追い風となり、宿泊者数は増加傾向となりました。  
以上の結果、売上高は、1,494百万円(前期は1,028百万円)となりました。

**セグメント利益**：売上高が好調に推移し、26百万円のセグメント損失(前期は333百万円の損失)となりました。

### 【不動産事業】

**売上高**：4月末にコンビニエンスストア「セブンイレブン」に係る土地賃貸借契約が終了したことに伴い、売上高は165百万円(前期は170百万円)となりました。

**セグメント利益**：売上高及び利益率の低下により、90百万円のセグメント利益(前期は113百万円の利益)となりました。

### 【土木・建設資材事業】

**売上高**：ポゾテック製造や汚泥焼却施設管理などの受託業務に加え、燃料投入業務を受託しているバイオマス火力発電所の増設により、燃料投入量が拡大したことで好調に推移し、売上高は342百万円(前期は328百万円)となりました。

**セグメント利益**：売上高が好調に推移し、61百万円のセグメント利益(前期は55百万円の利益)となりました。

## 2. 2023年12月期通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2023年予想	2022年実績
売上高	5,800	5,732
営業利益	530	763
経常利益	520	820
親会社株主に帰属する当期純利益	420	428

※1 上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる場合があります。

※2 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、上記の連結業績予想については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

### 3. 業績推移

#### 連結(通期)

(単位:百万円)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 予想
売上高	8,359	4,616	5,754	5,732	5,800
営業利益	684	△461	34	763	530
経常利益	691	△348	202	820	520
親会社株主に帰属する 当期純利益	386	△633	△1,477	428	420

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2022年以降の連結(通期)業績推移については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。



## 4. 2022年12月期期末配当の件

当社は、株主に対する安定的な配当を経営の重要政策の一つとしており、1株当たり9円の期末配当を実施する予定としております。

なお、2022年12月期第2四半期末(中間期末)におきまして、中間配当として1株につき3円の配当を実施しております。また、直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移は下記のとおりです。

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
第2四半期末	5円00銭 普通配当5円00銭	7円00銭 普通配当5円00銭 特別配当2円00銭	0円00銭	2円00銭 普通配当2円00銭	3円00銭 普通配当3円00銭
期 末	7円00銭 普通配当5円00銭 特別配当2円00銭	7円00銭 普通配当6円00銭 特別配当1円00銭	0円00銭	2円00銭 普通配当2円00銭	<b>9円00銭</b> 普通配当 <b>9円00銭</b>
年 間	12円00銭 普通配当10円00銭 特別配当2円00銭	14円00銭 普通配当11円00銭 特別配当3円00銭	0円00銭	4円00銭 普通配当4円00銭	<b>12円00銭</b> 普通配当 <b>12円00銭</b>

## 5. 役員等人事



2023年3月30日開催予定の定時株主総会及びその後の取締役会において正式に決定

### 1. 代表取締役の異動

代表取締役会長 江里口 俊文 (現 代表取締役社長)

代表取締役社長 松野 隆徳 (現 取締役副社長)

#### 【新任代表取締役の略歴】

◆松野 隆徳(まつの たかのり) 1963年7月21日生 59歳 福岡県出身

##### 【略 歴】

1987年 4月 当社入社  
2005年 3月 当社総務部長  
2009年 3月 グリーンランドサービス株式会社代表取締役社長  
2011年 3月 当社取締役総務部長兼ゴルフ事業部総支配人、  
グリーンランドサービス株式会社担当  
2013年 4月 当社取締役総務部長兼ゴルフ事業部総支配人  
2015年 3月 当社常務取締役遊園地事業部長  
2016年 2月 当社常務取締役遊園地事業部長兼営業部長  
2017年 3月 当社常務取締役遊園地事業部長兼営業部長、ゴルフ事業部・施設部担当  
2017年 5月 当社常務取締役遊園地事業部長兼営業部長兼施設部長、ゴルフ事業部担当  
2019年 3月 当社取締役副社長(現任)  
有明リゾートシティ株式会社・空知リゾートシティ株式会社担当  
2020年 4月 有明リゾートシティ株式会社代表取締役社長(現任)

## 5. 役員等人事

2023年3月30日開催予定の定時株主総会において正式に決定

### 2. 新任取締役候補

◆取締役 別府 正文(べっぷ まさふみ) 1967年2月3日生 56歳

#### 【略 歴】

1991年 4月 当社入社  
2016年 4月 当社次長  
(有明リゾートシティ株式会社出向)  
同社ブランカ総支配人  
2018年 6月 当社遊園地事業部次長兼同部遊園地支配人  
2019年 3月 当社施設部長  
有明リゾートシティ株式会社取締役ブランカ総支配人  
2021年 6月 (有明リゾートシティ株式会社出向)  
同社取締役ヴェルデ宿泊料飲部長兼ブランカ総支配人(現任)

## 6. 役員新体制



当社の役員新体制は以下のとおりの予定であります。(2023年3月30日付)

代表取締役会長	昇任	江里口俊文	
代表取締役社長	昇任	松野隆徳	有明リゾートシティ株式会社 代表取締役社長
常務取締役	再任	重光敬明	空知リゾートシティ株式会社 代表取締役社長
取締役	再任	幕 宰	施設部長
取締役	再任	田中宏昌	不動産事業部長 グリーンランド開発株式会社 代表取締役社長
取締役	再任	寺田尚文	遊園地事業部長兼営業部長
取締役	再任	佐伯賢二	経営管理室長
取締役	新任	別府正文	有明リゾートシティ株式会社 取締役ヴェルデ宿泊料飲部長 兼ブランカ総支配人
社外取締役	再任	山下秋史	西部ガスホールディングス株式会社 代表取締役副社長執行役員
社外取締役	再任	最上剛	肥銀リース株式会社 代表取締役社長
常勤監査役	再任	岡部雅彦	
社外監査役	再任	中尾哲郎	弁護士法人 中尾総合法律事務所所長
社外監査役	再任	水本忠敬	税理士 水本税理士事務所所長
社外監査役	再任	藤田直己	公認会計士 公認会計士藤田直己事務所所長

## 7. 2023年の取り組みについて



### 【遊園地事業】

#### ①グリーンランド遊園地(九州)

新型コロナウイルス感染症の完全な終息時期は見通せない状況ではありますが、新しい生活様式「Withコロナ」の浸透とともに回復基調にあるレジャーニーズに対応すべく、日本一の数を誇るアトラクションの更なる魅力アップならびに特色あるイベント開催を集客施策の柱として、一層の収益拡大を目指してまいります。

#### ■春のイベント

##### 1. 「ひろがるスカイ！プリキュア おでかけ！ひろがるワールド」

期間:3月18日(土)~5月7日(日)及び5月中の土日 計57日間

女兒に人気の「プリキュア」シリーズの20作目となる「ひろがるスカイ！プリキュア」のフロアイベントで、一緒に踊れるダンスステージ、体験型アトラクション、フォトスポットなど、プリキュアの世界観が楽しめる内容です。

##### 2. 「仮面ライダーギーツ バトルステージ」

期間:3月18日(土)、19日(日)、21日(祝)、25日(土)、26日(日)・4月1日(土)、2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)、29日(祝)、30日(日)・5月3日(祝)、4日(祝)、6日(土)、7日(日)、14日(日)、21日(日)、28日(日) 計19日間

◆上記以外にも、人気のキャラクターショーならびに話題性の高いイベントを適時開催予定

#### ■HANABIファンタジア~花火新時代の幕明け~ 3月18日(土)

見どころは、当園史上最大12,000発の花火や西日本初となる360度全方位型花火タワーによる演出です。

#### ■昭和・平成ライダー集合イベント 5月3日(水・祝)・4日(木・祝)

#### ■プリキュアオールスターズがやってくる！ 5月5日(金・祝)

#### ■GW打上花火ショー 5月3日(水・祝)・4日(木・祝)・5日(金・祝)

■夏休みに向け、人気の「ホラータワー 廃校への招待状」をリニューアルいたします。

■3月1日(水)より、入園料金・フリーパス料金等の改定(値上げ)を行います。

## 【遊園地事業】

### ②北海道グリーンランド遊園地

#### ■春イベント

##### ◆多彩なキャラクターショー開催

- ・「鬼滅の刃」ショー
- ・「仮面ライダーギーツ」ショー
- ・「ひろがるスカイ！プリキュア」ショー
- ・「王様戦隊キングオージャー」ショー

#### ■夏イベント(予定)

- ・子ども達に人気のキャラクターショー開催
- ・大型音楽イベント「JOIN ALIVE 2023」(ジョインアライブ)
- ・「いわみざわ彩花まつり花火大会」・「いわみざわ公園花火大会」

#### ■秋イベント(予定)

- ・週末毎に人気キャラクターショーを実施するほか、コスプレイベント「グリコス」やご当地アイドルフェスなど、バラエティに富んだイベントにより集客を図ります。

### ③いわみざわ公園バラ園

- 「ローズフェスタ」の開催や施設案内ツアーによる魅力発信に注力し、「バラカフェ」や各種イベント開催により集客を図ります。

## 【ゴルフ事業】

コロナ禍においても、開放的な屋外型スポーツとして人気が高く、また、新たにゴルフプレーを始める若者層が増えているといった好材料もあり、更なる顧客獲得に向け、積極的に取り組んでまいります。

- 荒尾市、大牟田市、広川町(久留米市)の3つのゴルフ場において、「全Gオープンコンペ」を開催するなど、そのスケールメリットを活かした集客策を打ち出していく
- 「グリーンランドリゾートゴルフコース」では、特徴ある各種オープンコンペを開催するとともに、女性用ティーイングエリア新設などのコース改良ならびにコース整備に鋭意取り組み、幅広い層の集客を図る
- 「大牟田ゴルフ場」ならびに「広川ゴルフ場」の両メンバーシップコースでは、メンバー限定の特典付与やクラブ主催コンペのルール見直し等による利用促進を図る  
また、ロッカールームや大浴場の改修など、施設の魅力拡充により、ゴルフビギナー層をはじめ、増加傾向が見られるビジター客の利用拡大を図る
- ゴルフカートのコース内乗り入れサービスによるプレー環境の快適性ならびに利便性の高さをPR
- 利用再開が見られる韓国からのプレーヤーについて、送客エージェントとの連携強化ならびに万全の受入体制整備により、更なる利用拡大を図る
- 太陽光発電装置の新規設置により運営コスト削減を図るとともに、プラスチックゴミ削減など、引き続き、環境に配慮したSDGsへの取り組みに注力
- 樹木の剪定・伐採及びカート道路の補修等のコース整備に注力

## 【ホテル事業】

### ①ホテルブランカ・ホテルヴェルデ

■グリーンランドのオフィシャルホテルとしての強みを活かした宿泊者獲得に取り組み、これまで培ったノウハウとブランド力を発揮して、料飲部門ならびに宴会部門における魅力あるイベント開催や商品開発により、地元顧客を中心に利用促進を図ってまいります。

#### 【ホテルブランカ】

- ・遊園地、プール、ゴルフ場に隣接する抜群の好立地を活かした各種宿泊セットプランの販売強化
- ・ゴルフプレーを中心に回復傾向にあるインバウンド宿泊客の着実な取り込みに注力
- ・特色ある鍋バイキングや遊園地を望む中庭でのバーベキューを中心に、朝食メニューの充実などにも取り組み、更なる利用促進を図る

#### 【ホテルヴェルデ】

- ・自社ホームページやOTA(インターネット上の旅行会社)を活用し、遊園地やゴルフ場のご利用者に向け、様々な宿泊特典を分かりやすくPRして顧客獲得を図る
- ・予約状況が順調な修学旅行については、各コースの造成時期に合わせたアプローチと遊園地利用を組み込んだ魅力的なプラン提案を行い、リゾートホテルの魅力とおもてなしのサービス提供により、継続的な利用獲得に努める
- ・和食レストラン「小岱」では、季節毎のメニュー充実と収益改善に努め、洋食レストラン「フォンターナ」では、各種団体取り込みに加え、お客様が安心して食事が楽しめるよう、食品アレルギー表示の改良に取り組む
- ・地元企業の宴席獲得に加え、海外の料理が楽しめる「フードマルシェ」など特色あるイベント開催で集客を図る
- ・婚礼は、ブライダル斡旋業者との連携強化、婚礼試食会の機動的な実施などにより、お客様のニーズにマッチできる「ヴェルデ婚」の魅力発信の機会を拡大して、顧客獲得を図る



## 【ホテル事業】

### ②ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

- 遊園地やスキー場を中心とするリゾートホテルとしての利用者獲得に努め、地域に根差したホテルとして、料飲部門や宴会部門における魅力あるイベント開催やサービス提供による顧客獲得に注力

#### 【ホテルサンプラザ】

- ・遊園地やスキー場とのセットプランをはじめ、利便性が高い立地を活かしたビジネスプランや各種団体向けプランの販売を促進
- また、無料送迎バスの強みを活かし、近隣ゴルフ場と連携し、韓国からのゴルフツアー客を取り込む
- ・地元で強みのあるランチバイキングに加え、「黒ダイヤ酢豚」に代表される地域ブランド「炭鉄鉱めし」の推奨店として、新メニュー開発に取り組み集客拡大を図るほか、女性をターゲットとしたメニュー作りに注力
- また、発酵食品の米麴を使った健康サラダなど【美味しく食べて健康になれる】料理を打ち出していく

#### 【北村温泉ホテル】

- ・新たに、三世代家族の思い出づくりをテーマとした「三世代宿泊プラン」の造成により、集客力を強化
- ・「源泉掛け流し43℃の名湯」という魅力に加え、「温まりの湯」と銘打ち、強塩泉ならではの保温効果の高さをPRして、天然温泉の利用拡大を図る

## 【不動産事業】

・社有地の有効活用という面からも、遊園地を中心とするグリーンランドリゾートエリア全体の魅力増大に繋がるような、新しいテナントの誘致に注力

### ・グリーンランドリゾートエリアの変遷

- 1966年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
- 1966年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
- 1968年 9月 三井グリーンランドホテル営業開始
- 1994年10月 ホテルヴェルデ営業開始
- 1995年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
- 2003年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
- 2005年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
- 2006年11月 グリーンスマイル1番館オープン
- 2008年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
- 2011年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
- 2013年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始
- 2018年 9月 賃貸アパート「オズハウス I 番館」完成・賃貸開始

## 【土木・建設資材事業】

- ・2021年から2022年にかけて増設されたバイオマス発電所への燃料投入業務の着実な受託
- ・ポゾテックやコールサンドなどの建設資材の販売促進
- ・緑地管理業務の受託など、新たな業務受注等を積極的に推進